



<報道関係各位>

日本のまつり・故郷の味

2020年1月20日

ふるさと祭り東京2020ー日本のまつり・故郷の味ー

10日間で当イベント史上最多となる443,237人が来場！

第11回全国ご当地どんぶり選手権では島根県の「のどぐろ丼」が2年連続のグランプリを獲得！

開催期間：2020年1月10日（金）～19日（日）【10日間】

ふるさと祭り東京実行委員会は、1月10日（金）から19日（日）までの10日間、東京ドームにて、全国各地に伝わる伝統の“祭り”や“ふるさとの味”が一堂に会した『ふるさと祭り東京2020ー日本のまつり・故郷の味ー』を開催し、**443,237人**のお客様にご来場いただきました。会期中の来場者数は12回目の開催で過去最多となりました。

最終日の1月19日（日）には、「第11回全国ご当地どんぶり選手権」の結果発表・表彰式を開催しました。本選出場の14どんぶりのうち、**島根県の「のどぐろ丼」が、見事グランプリ・観光庁長官賞に輝きました。**「のどぐろ丼」は前回に続き2度目のグランプリ獲得を果たし、「殿堂入りどんぶり（^{でんどう}殿丼）」となりました。

準グランプリ（第2位）は北海道の「十勝牛とろ丼」、第3位は鹿児島県の「志布志発 かごしま黒豚三昧」、第4位は大分県の「寒ブリ漬け丼（熱めし丼）」、第5位は北海道の「北海ねばとろ海鮮丼」でした。なお、グランプリには賞金50万円＋副賞、準グランプリには賞金30万円＋副賞、第3位には賞金10万円＋副賞を授与しました。

グランプリ受賞の「のどぐろ丼」を提供した、「出雲 日本海」の加田義憲さんは、「前回、平成最後のグランプリとなり、今回は令和最初のグランプリを獲得することができました。この1年間のプレッシャーは大きかったです、サポートしてくれた漁師の方々の想いもお客様に届けるという気持ちで臨みました。賞金は出雲市に全額寄付し、少しでも地域に貢献したいです。」と喜びを語りました。



「第11回全国ご当地どんぶり選手権」
結果発表・表彰式の様子

<第11回全国ご当地どんぶり選手権・結果>

【グランプリ・観光庁長官賞】



のどぐろ丼
出雲 日本海
（島根県）

【準グランプリ】



十勝牛とろ丼
株式会社円らく
（北海道）

【第3位】



志布志発 かごしま黒豚三昧
志布志いい肉食べさせ隊
（鹿児島県）

※全国ご当地どんぶり選手権は、お客様がどんぶりを食べた後に、気に入ったどんぶりに“コイン”を投票していただき、順位が決まります

また、会期中、「新居浜太鼓祭り」「青森ねぶた祭」をはじめ、「秋田竿燈まつり」「高知よさこい祭り」「沖縄全島エイサーまつり」など全国各地のお祭りが会場内で山車の運行や演舞を披露し、『ふるさと祭り東京』から元気と活気を発信しました。

ふるさと祭り東京実行委員会 岡崎慎 総合プロデューサーは、「『ふるさと祭り東京』で楽しんだ味やお祭りを、今度は実際にご当地に足を運んで、ご当地の雰囲気の中で体験していただきたいと思います。次回以降もイベントをステップアップさせていきますので、ぜひまた来年もお越しください。」と語りました。

本年で12回目の開催となりました『ふるさと祭り東京ー日本のまつり・故郷の味ー』は、皆様のご期待にお応えし、2021年も開催の予定です。今後もご期待ください。